

②江東区区民大会サッカー大会感染対策遵守事項【選手・チーム】

江東区サッカー連盟感染拡大防止ガイドラインに基づき、区民大会参加チームの活動時の遵守事項を以下規定する。

チーム活動の前提として体調が不良な場合（発熱・咳・咽頭痛等の症状がある場合）自主的に参加を見合わせる。

試合当日準備段階

- ① 管理棟及びグラウンドでは、全員がマスクを着用すること。
- ② 管理棟及び更衣室を利用する場合、密になることを避け会話せず利用する。
- ③ チーム責任者は、参加者全員の体調確認・体温測定・マスク着用確認の健康チェックを実施しメンバー表に記録する。（1項目でも×がある選手は、試合に参加させずすぐに帰宅させる）
遅れて参加する選手については感染対策チェックを本部に依頼する。

試合開始時

- ④ 入場セレモニーは行わず、ベンチより直接グラウンドに散開する。円陣はしない。
- ⑤ 審判・相手選手との握手は行わない。
- ⑥ ベンチメンバーは、選手同士の間隔をとりマスクを着用する。

試合中

- ⑦ 密集した場所では、大声を出さない。
- ⑧ 選手同士または審判と密接な距離で会話しない。
- ⑨ 水分補給時の飲料ボトル及び汗拭きのタオルは共有しない。
- ⑩ ピッチ内でも咳エチケットを守り、唾を吐く手鼻をかむなどの行為を行わない。
- ⑪ けが等で倒れた選手に手を貸さない。（治療等はマスク着用の人が行う）

試合終了時

- ⑫ 終了セレモニーは行わず、そのままベンチに戻りすぐにマスクを着用する。
- ⑬ 相手選手への挨拶・審判との握手は行わない。
- ⑭ ごみは各自持ち帰り、特にマスク等施設のごみ箱には捨てない。

審判担当者は、

- マスクを着用した状態で、運営本部にて試合前後の手続きをする。
 - 一般の部試合にはホイッスルは使用せず、本部装備の電子ホイッスルを使用する。
- 電子ホイッスル及び副審フラッグは、使用前・使用後には各自消毒を行う。
- マスクをしたままでの審判実行でもよい。（本人判断）